




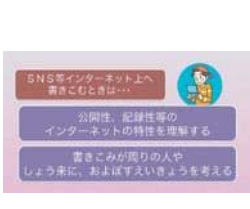


教材 9

SNS への書き込みの影響

シナリオ・スライド

<p>導入編</p>		<p>少年野球チームに所属しているはやとさんはピッチャーになりたいと思い、一生懸命練習しています。 けれどもなかなか試合でピッチャーとして投げさせてもらえません。 ある日の試合でも、結局、ピッチャーにはなれませんでした。</p>
		<p>どうしても納得がいかないはやとさんは、SNSの掲示板にウソの書き込みをしてしまいました。「ドルフィンズは、監督に贈物を贈っている選手を優先して試合に出しているチームだ」 このウソは瞬く間にSNS上で広がり、監督のもとに父兄の苦情が殺到するようになりました。</p>
	 	<p>ちょっとやりすぎたかなと感じているはやとさんは、早く事態がおさまればいいのにといいながらSNSの掲示板を見ていました。すると、次第にその書き込みがウソであることがばれてしまい犯人がはやとさんであると特定されました。ついには自宅の電話番号まで知られるようになってしまいました。 はやとさんは結局野球チームをやめることになり、やってしまったことに後悔しました。</p>
<p>解説編</p>		<p>インターネットの特性の一つである公開性により、何げなく書いたウソが広く伝わりました。そのことから、チームには苦情が殺到し、やめてしまう選手まで出てしまいました。</p>
	 	<p>そして事態はますますエスカレートし、書き込みしたはやとさんの個人情報まで特定されるようになりました。 これはインターネットを利用している多くの人が調べることで次第に個人が特定されてしまうためです。 また、インターネットの特性の一つである記録性のため、情報がコピーされ、はやとさんはこの情報を消すことができません。 一度流れた情報は大人になってもインターネット上に残ってしまいます。</p>
		<p>スマートフォンの普及もあり、SNSを使って多くの人と簡単にコミュニケーションをとることができるようになってきました。しかし、その気軽さから、安易に書き込みをして、トラブルになってしまう例が増えています。 多くの人々が利用するインターネットはふだんの生活と同じなのです。ふだんの生活でははならないことはインターネットでもしてはならないのだということを理解しましょう。</p>